

# 戦略会議協議事項一覧

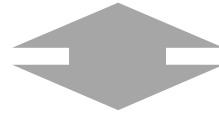
## 資料2-2

戦略会議で議論する内容（R3～4年度） ※下線：議論した項目（継続審議を含む）

→ R4年度末に戦略策定（必要によりアクションプラン改訂）

### 【停車本数をいかに増やすか】

- 区間便の運行 第3回戦略会議
- 速達便の停車拡大
- 利便性の高いダイヤの実現



### 【新幹線利用者をいかに増やすか】

#### 新駅のターゲット層

①インバウンド（着地）利用  
主に東北・道南エリア、外国人観光客

②アウトバウンド（発地）利用  
主に小樽市、手稲区、西区、石狩市

#### ①インバウンド（着地）利用の増加

- 後志地域と連携した広域観光の検討 第2回戦略会議
- 修学旅行の誘致 第3回戦略会議
- 新駅周辺の魅力づくりの検討  
(奥沢水源地の活用など) 第4回戦略会議
- 飛行機や船舶+新幹線の組合せによる周遊促進の検討 第6回戦略会議

#### ②アウトバウンド（発地）利用の増加

- 通勤・通学利用の検討 第2回戦略会議
- 駐車場の整備 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回戦略会議
- 移住・定住の促進 第4回戦略会議
- 企業立地の促進 第4回戦略会議
- 市民の利用促進 第6回戦略会議

#### ③アクセス機能の強化

- 駐車場の整備（再掲）
- 附帯施設の整備 第4回戦略会議
- アクセス拠点の検討 第4回戦略会議
- 利用者増につながる2次交通（公共交通、レンタカー等）のあり方の検討 第5回戦略会議

### 現状値 (戦略なし)

停車本数：  
13～16本  
乗降客数：  
700～1,600人/日



停車本数が少なく、利便性が低くなる恐れがある。新幹線利用者が少なく、開業効果も少ない悪循環が懸念される。

第4回協議会  
第2回戦略会議

### 目標値(仮) (戦略あり)

停車本数・利便性を高め、新幹線駅の利用者数（＝交流量）を増やす。交流量増加により、新幹線開業効果を高めていく。

【目標値(仮)】  
停車本数：  
19本  
乗降客数：  
2,000+α人/日

第2回戦略会議